

## ②研修内容 一寮日課・午後一

### 労働体験（試事-しごと-チーム）

地域近隣の方から仕事を請け負い、スタッフ引率のもと、実際のお客様宅にて仕事をおこなう。

→実践的な労働と、お客様より直接うける感謝の気持ち

試事チームの作業として、

ポスティングやティッシュ配り、草むしりや剪定作業、ペンキ塗り、引越しの時のゴミ出しなどがある。

また、保育園・老人ホームでのボランティア活動や、コミュニケーションやキャリアアップのワークショップもおこなっている。

## ②研修内容 一支援の種類一

### a.宿泊型の支援

就労支援

寮運営

グループホーム

### b.通所型の支援

フリースペース

地域若者サポートステーション

障害者就労、生活支援

### c.アウトリーチ支援

※一部 見学のみ

## ② a. 宿泊型の支援

宿泊型で行うことにより

- 生活の基盤が身につく
  - 就労、自立への基礎づくり
- ON・OFFの切り替えが実感できる
  - 通所型では見えにくい
- 利用者－スタッフ間の親密さ
  - 相談員＜先輩

## ② b. 通所型の支援

地域若者サポートステーション

→ 就労相談



## ② b. 通所型の支援

**フリースペース**

→ **生活改善、コミュニケーション**



## ② b. 通所型の支援

**学習支援**

→ **学習、進学、復学**



## ② b. 通所型の支援

個々の状況に合わせた利用から、  
社会参加への支援をおこなう。

## ②C. アウトリーチ支援

足立区の生活保護世帯を対象としたアウトリーチ支援

- ・ 足立区民が対象
- ・ 無料

青少年自立援助センターの自主事業としてのアウトリーチ支援

- ・ 対象不問（全国）
- ・ 有料



## ②C. アウトリーチ支援 ケースⅠ

20代前半 女性

中学校から不登校  
交遊関係なし  
外出可能

アウトリーチ支援を受け、3年。

就労意欲が芽生え、実際に応募・面接もおこなっている。

しかし、集団への参加や新しい環境への第一歩を苦手としていることから、サポートステーションなどへの相談機関利用に抵抗あり。

自宅以外で待ち合わせ、就労支援・相談をおこなっている。

## ②C. アウトリーチ支援 ケースⅡ

20代後半 男性

母子家庭  
中学校から不登校  
外出少ないが可能

自らの社会参加意識は低いですが、友人の誘いもあり、アルバイトを考えている様子。しかし、その交遊関係以外の活動は、外出も含めて非常に乏しい。

まずは、買い物や病院へ行くための生活改善を目標とし、散歩などから日中活動をはかり、昼夜逆転と体力向上をめざす。

## ③ 実地研修を終えて

## ③ 実地研修を終えて

アウトリーチは  
社会参加への“メッセンジャー”

「一人で悩まないで。」  
「こんな社会資源があるよ。」

当事者のもとへ直接おもむき  
届けることができる

### ③ 実地研修を終えて

当事者に合わせた支援

- ・ 若者個人とご家族の状況
- ・ 年齢や地域特性、経済的状況
- ・ 疾患、障害の有無

出口（社会参加）を見据えた支援

- ・ 適切な相談機関
- ・ 自ら相談できる力・知識を身につける

### ③ 実地研修を終えて

的確な状況把握と適切な支援から、  
ひきこもり状態を繰り返さない支援、  
自立を促すことが大切であることを、  
これまで以上に強く実感し、学んだ。